

「ミニバス競技規則の変更点の概略」のポイント

2005. 4. 25

山口県ミニバスケットボール連盟

- ① **前半に攻撃するのは相手ベンチ側のバスケットになった**
今までと逆の方向に攻撃することになる。ゲーム前やハーフタイムにウォームアップをする場所も今までの逆になる。延長時限は後半と同じバスケットに攻撃する。
- ② **ジャンプ・ボールはゲーム開始時の1回だけとなった**
第2クォーター以降(延長含む)はすべてオルタネイティング・ポジション・ルールによるスロー・インで始められる。後半から攻めるバスケットが変わるので、前半(第2クォーター)が終了したときにすみやかにポジション・アロー(矢印)の向きを変えておくこと。
- ③ **ゲーム中、チーム・ベンチ・エリアで立ちつづけていて良いのはコーチだけとなった**
アシスタント・コーチやそれ以外の人は立ちつづけていてはならない。
- ④ **チャージド・タイム・アウトの時、タイムキーパーは50秒経過と60秒経過の2回にわたり合図器具を鳴らすことになった**
50秒経過したら両チームともゲーム再開の準備をすることには変わらない。
- ⑤ **タイムキーパーは第1クォーターおよび第3クォーターの始まる3分前と1分30秒前と第2クォーターおよび第4クォーター各延長時限の前のインタヴァルにもクォーター開始30秒前に合図器具を鳴らすことになった**
審判の1分30秒前の笛が鳴ったら、両チームのプレーヤーはウォームアップをやめてチーム・ベンチにもどり、ゲーム再開の準備をする。
- ⑥ **チャージド・タイム・アウト中に申し出のあった交代は、合図器具を鳴らさないことになった**